

地域課題① 健全な財政運営に向けた検討や組織の見直しによる役員等の負担軽減

★具体的取組の例

- 住民合意に基づく会費収入に見合った事業運営の見直し
- 公民館類似施設運営・活動費補助金の有効活用

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	20	74%
取り組まなかった	7	26%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

【30 世帯以下】

- ・事業内容を見直し、経費削減を行った。
- ・役員数を削減した。

【31～100 世帯】

- ・事業を縮小し予算削減を行った。
- ・役員負担の見直しと役員報酬を減額した。
- ・予算に忠実に無駄のない運営を行った。
- ・会議資料を事前に配布し会議時間を短縮した。
- ・業務分担を見直し、自治会長の負担を軽減した。

【101～300 世帯】

- ・役員の選出方法を変え、スムーズな選出ができるよう取り組んだ。
- ・自治会費の金額について、住民の理解が得られるよう取り組んだ。

【301 世帯以上】

- ・健全な財政運営を図るため事業費の支払い手順の改善を進めた。

地域課題② 将来を見据えた単位自治組織の検討

★具体的取組の例

- SNS の活用等新しい生活様式の導入
- 若者や女性等、多様な人材の活躍の場づくり

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	13	48%
取り組まなかった	14	52%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

【30 世帯以下】

- ・世帯数減、高齢化も進むことから自治会組織の再編成を行った。
- ・自治会内の隣組の戸数調整を行った。
- ・役員 LINE グループでの情報共有により伝達漏れがなくなった。
- ・LINE 活用により、二度の災害・豪雨・豪雪停電時において、役員が機動的に対応できた。

【31～100 世帯】

- ・役員間グループ LINE による連絡で「報告・連絡・相談」がスムーズになった。
- ・LINE 活用により、役員会などについては有線放送での連絡を廃止した。
- ・地元特産品の生産・販売について地域外への情報発信を行い、文化の伝達に努めた。

【101～300 世帯】

- ・人口減少と高齢化による役員のなり手不足のため、組織の見直しと役員選出方法の検討に取り組むことになった。

【301 世帯以上】

- ・組織機構の改善策を協議した。
- ・集落全体の情報伝達や自治会そのもののあり方を検討し、将来像を描く機運ができた。

地域課題③ 安全で安心して暮らせる防犯・防災対策の推進

★具体的取組の例

- 住民が災害対策意識を強く持つように、定期的な避難訓練と有事に備えた話し合いの機会や講習会の開催
- 有事に備えた住民情報の把握と見守り・支え合い体制の仕組みづくり

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	21	78%
取り組まなかった	6	22%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

【30 世帯以下】

- ・防災研修を実施し、ふり返しを行うことにより住民の注意喚起強化に繋がった。
- ・防災用に電池式ランタンを各戸へ配布した。
- ・盗難などの事案について有線放送で自治会内に注意喚起を行った。
- ・集落内の防犯灯を移設し夜間の安全性を高めた。
- ・個別避難計画についての話し合いを行った。

【31～100 世帯】

- ・避難路・避難場所の修繕を行った。
- ・防災機器の点検などを定期的に行った。
- ・防災世帯台帳、避難行動困難者及び救助者名簿の作成を完了した。
- ・津波避難訓練での非常持出袋の持参指示に従い、参加者の 32%が持参した。
- ・避難場所に暖房器具や簡易トイレなどの災害備品整備を予算化した。
- ・中山間集落機能強化加算事業で各世帯に防災グッズ（リュック共）を配布した。
- ・詐欺被害について講演を行い、日頃の注意喚起ができた。

【101～300 世帯】

- ・防災避難訓練を実施し、各避難所へスムーズに避難できた。
- ・避難困難者への対応のため、家族カード作成と避難計画作成に取り組むこととした。

- ・防犯対策をテーマに研修を実施し、消防団と一緒に集落の危険箇所を点検した。

【301 世帯以上】

- ・防災訓練を実施し、地域内危険箇所対策など、市へ要望書を提出した。
- ・自主防災会の活動として備品や避難所物品の整備を進め、防災意識を高めることができた。

地域課題④ 次代を担う若者や子どもたちを取り巻く環境づくり

★具体的取組の例

- 世代間交流等による伝統行事や伝統文化の継承への動機づけと支援
- 地域理解を深めるための学習支援

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	17	63%
取り組まなかった	10	37%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

【30 世帯以下】

- ・雪灯籠祭りの開催により地域の人たち（大人も含む）に伝統を伝えることができた。
- ・そば感謝祭を実施し、集落外の若者の参加により賑やかに交流できた。

【31～100 世帯】

- ・イベントを通じて、普段参加していない若者と交流することができた。
- ・地域の特色を活かした交流事業を行った。
- ・民俗芸能ワッパ舞の荘銀タクトでの上演、新聞掲載やテレビ放送によって、地域の伝統文化を広く周知できた。
- ・地域行事へ子ども会が参加した。
- ・集落内の寺と神社をめぐり、地元史に詳しい方の解説で歴史を学ぶ機会を提供した。

【101～300 世帯】

- ・お盆に事業を実施し、老若男女問わず世代間交流も深まった。他地域からの参加もあり地域間交流も生まれた。
- ・祭典保存会を立ち上げたことで、祭典準備などの話合いがスムーズに進んだ。夏祭りの準備段階から活動に子どもたちを入れた。
- ・夏・冬の体験学習を実施し、地域の子どもは地域で育てる意識が強まった。

【301 世帯以上】

- ・子どものための事業（環境美化活動・ラジオ体操・夏まつり・クリスマス会など）を実施した。
- ・放課後子ども教室を支援した。

地域課題⑤ 高齢者等福祉の視点に立ったコミュニティづくり

★具体的取組の例

- 高齢者が持つ知識や経験を活かした地域づくりの推進
- 日常生活での見守り・支え合い体制の仕組みづくりと強化

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	18	67%
取り組まなかった	9	33%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

【30 世帯以下】

- ・健康座談会で医療を受けるための方法を確認できた。
- ・老人クラブへの支援や敬老会を開催することで、高齢者のコミュニティ形成に努めた。
- ・高齢者が実施している道路沿いの花植えの場へ他の世代の住民が参加することにより人手が増え、高齢者負担の軽減が図られた。
- ・高齢化により担当できない世帯が増えた行事を、自治会役員が担当して実施することとした。

【31～100 世帯】

- ・買い物支援サービスや健康体操を始めていることから、高齢者の公民館利用が多くなった。
- ・自治会から活動費の一部を支給し、高齢者の自主サークル活動（健康教室）を支援した。
- ・単身高齢世帯への声かけや訪問などにより情報収集を行った。
- ・健康増進を目的に、インストラクターを招いて健康体操出前講座を開催した。
- ・神社や寺の清掃活動、健康教室、新年会、花見など交流親睦会を実施した。
- ・75 歳以上の方に日常生活の支援の必要についてアンケートを実施した。

【101～300 世帯】

- ・健康づくり・お楽しみ会新規会員の勧誘に努めた。
- ・百歳体操、輪投げゲーム、カラオケ、お楽しみ会で親睦を図った。
- ・支え合い結の会への支援を継続した。

【301 世帯以上】

- ・敬老会の実施により高齢者と若年者との交流を深めた。

地域課題⑥ 広域コミュニティ組織の検討

★具体的取組の例

- 地区自治会の今後のあり方の検討

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	4	15%
取り組まなかった	23	85%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

【31～100 世帯】

- ・ 少子高齢化に伴う祭典の実施方法について検討した。
- ・ 近隣の集落（広域）との親交・交流のための親睦会などを継続して行った。

【101～300 世帯】

- ・ 自治会の在り方、地域コミュニティについての講習会を実施した。

【301 世帯以上】

- ・ 学校と連携し、子ども向けの地区（広域）事業を実施した。

その他／ 地域で課題になっていることなど

【30 世帯以下】

- ・ 高齢者世帯の増加に伴い、地域全体で行う行事への参加者が減少し、行事の実施が困難になっている。それが要因で自治会役員への負担が増加している。
- ・ 少子高齢化により伝統文化の継承や自治会運営そのものが困難。
- ・ 倒木による道路寸断・停電が最重要課題。

【31～100 世帯】

- ・ 鳥獣被害が増加し農地の荒廃が顕著で害獣対策が必要。
- ・ 海岸漂着ごみの増加。

【300 世帯以上】

- ・ 共同浴場の利用者負担のあり方。
- ・ 情報通信手段の改善と新たな構築。

その他／ 具体的に考えている事業や取組んでみたい事業など

【30 世帯以下】

- ・ 防災用品の保管場所を分散し、安全対策をより強化したい。
- ・ 地域住民が一体となって取り組んできた「関川しな織まつり」を今年度も継続して実施予定。
- ・ 住民以外の方への LINE のオープンチャットによる情報提供を行いたい。

【31～100 世帯】

- ・ 鳥獣被害対策を実施予定。
- ・ 個人共有名義の土地を自治会が管理し、その土地を活用した事業を行っており、土地の名義と管理を同一にするため地縁団体の登録を検討している。
- ・ 地域資源を活用した伝統料理の伝承事業を行いたい。
- ・ 令和 9 年 4 月新道の駅オープンに向け、山菜の収穫や販売に取り組むグループの支援事業を予定。

【101～300 世帯】

- ・ 公民館中心の事業を増やしてもっと住民と話し合いたい。
- ・ 自治会所有地を活用した「いこいの場」・「公園（小規模）」の設置を検討していく。
- ・ 年内に役員選出の在り方と自治会費の在り方を検討し具体的案を作成予定。

【300 世帯以上】

- ・ 共同浴場の利用者負担を制度化したい。
- ・ LINE による情報伝達・情報交流を行いたい。

その他／ 地域コミュニティに関するご意見など

【31～100 世帯】

- ・広域化については、スピード感をもって検討が必要。

【101～300 世帯】

- ・人口減少による自治会運営が困難になる前に、自治会単位事業の統合を模索したい。